

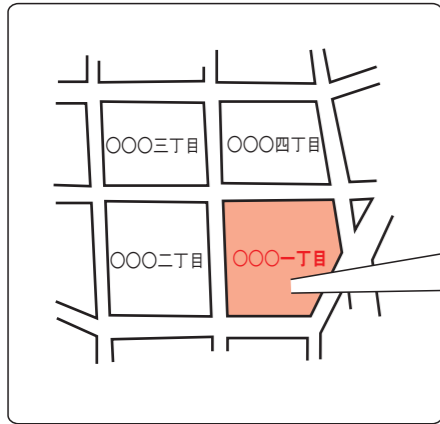
# 住居表示について

★住居表示とは、どなたにとっても分かりやすい住所を設定することです★

## 住居表示のしくみ

新町名

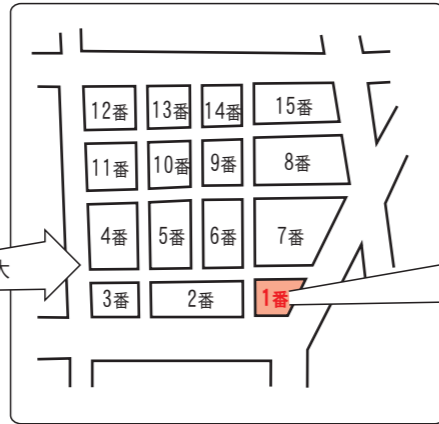
〇〇〇一丁目



↑町の区域をはっきり分かりやすく区切り、〇〇〇×丁目にします。

街区符号

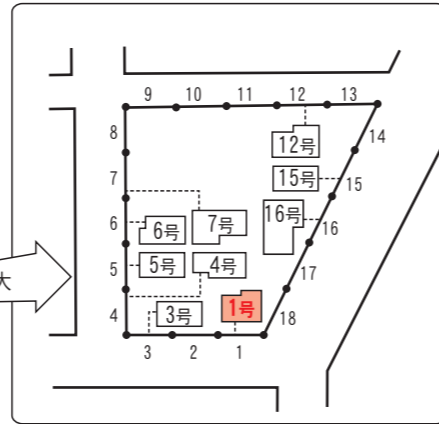
1番



↑町(〇〇〇×丁目)の中を分割してブロックに分け、順に街区符号を付けます。

住居番号

1号



↑街区のまわりに基礎番号を設定し、家の出入口位置によって住居番号を決めます。

## 住居表示の必要性やメリット・・・

### ●消防車・救急車・パトカーなどの緊急車両の早期到着のため

緊急車両は一分一秒を争います。住居表示を実施した地区であれば、消防署や警察署に場所を伝える場合、通りすがりの方でさえ住居表示板などを見ればピンポイントで目的地を伝えることができ、早期到着につながります。

### ●災害時の救援や介助にも役立ちます

災害時に一人暮らしのお年寄りの住所や、寝たきりで介助の必要な方がどこにお住まいか等、大変わかりやすくなり、迅速に対応できます。

### ●郵便物や宅配便の誤送・遅配が少なくなる

住居表示実施後の住所は、同一のものではなく、一定の範囲ごとに順序良く並んでいます。そのため届け先が特定しやすく、同じ苗字の方の建物が隣接しているような場所でも誤送や遅配を格段に少なくできます。

### ●目的の建物や人物を訪ねるのが容易になる

住居表示を実施した地区であれば、住所は全て順序良く並んでいますので、初めて訪れる方でも番号をたどるなどして容易に目的地に到着できます。これは、招く方にとっても便利なことではないでしょうか。

## 現在の番地による住所

下の図は、住居表示実施前の住所で表記した一画です。下図から住所が「1281番地の55」という建物を見つけるのは大変です。

1丁目(旧)

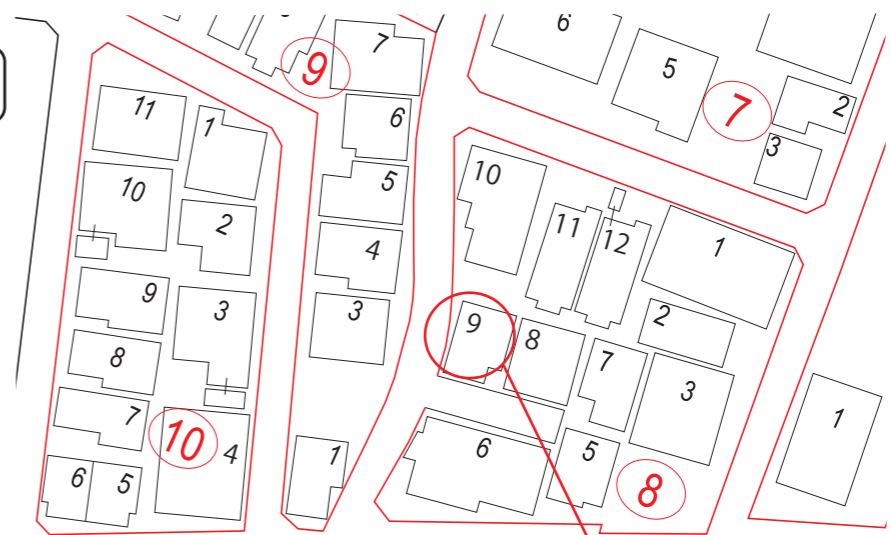


1281番55という地番を利用し、住所としています。

## 住居表示を実施すると・・・

住居表示実施後では、連続番号で設定された街区(下図の⑦⑧⑨⑩)を探します。街区の中は時計回りに建物ごとの番号が流れるので大変見つけ易くなっています。

1丁目(新)



街区を探し当てればあとは簡単に見つけられます

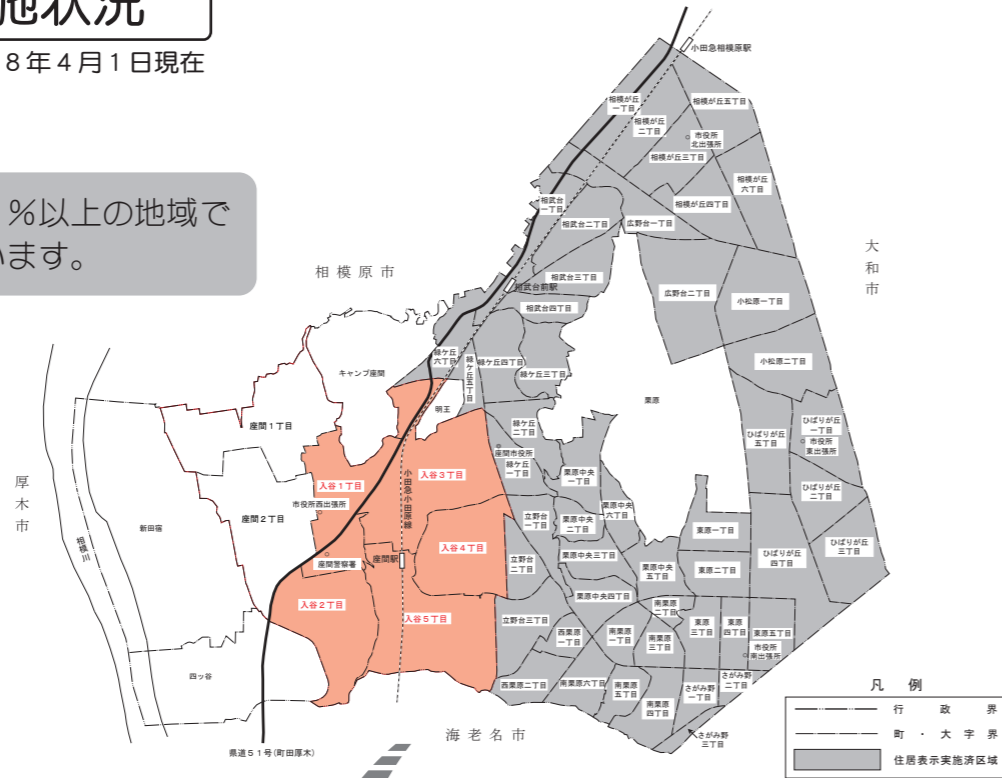
住居表示実施により住民の方の住所が変わります。(土地の地番は変わりません)

# 町割・実施年度について

## 住居表示の実施状況

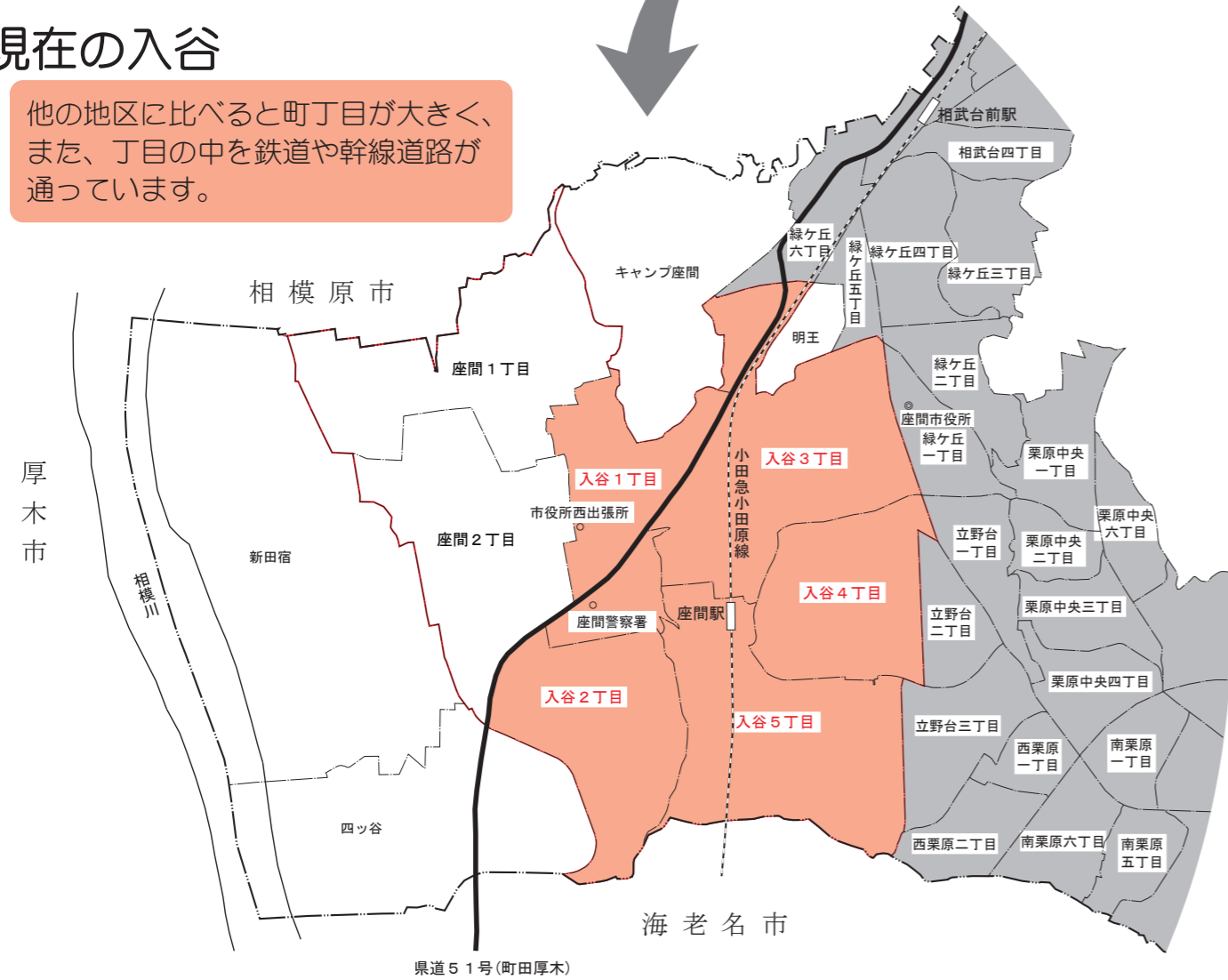
平成28年4月1日現在

現在、座間市では50%以上の地域で住居表示を実施しています。



## 現在の入谷

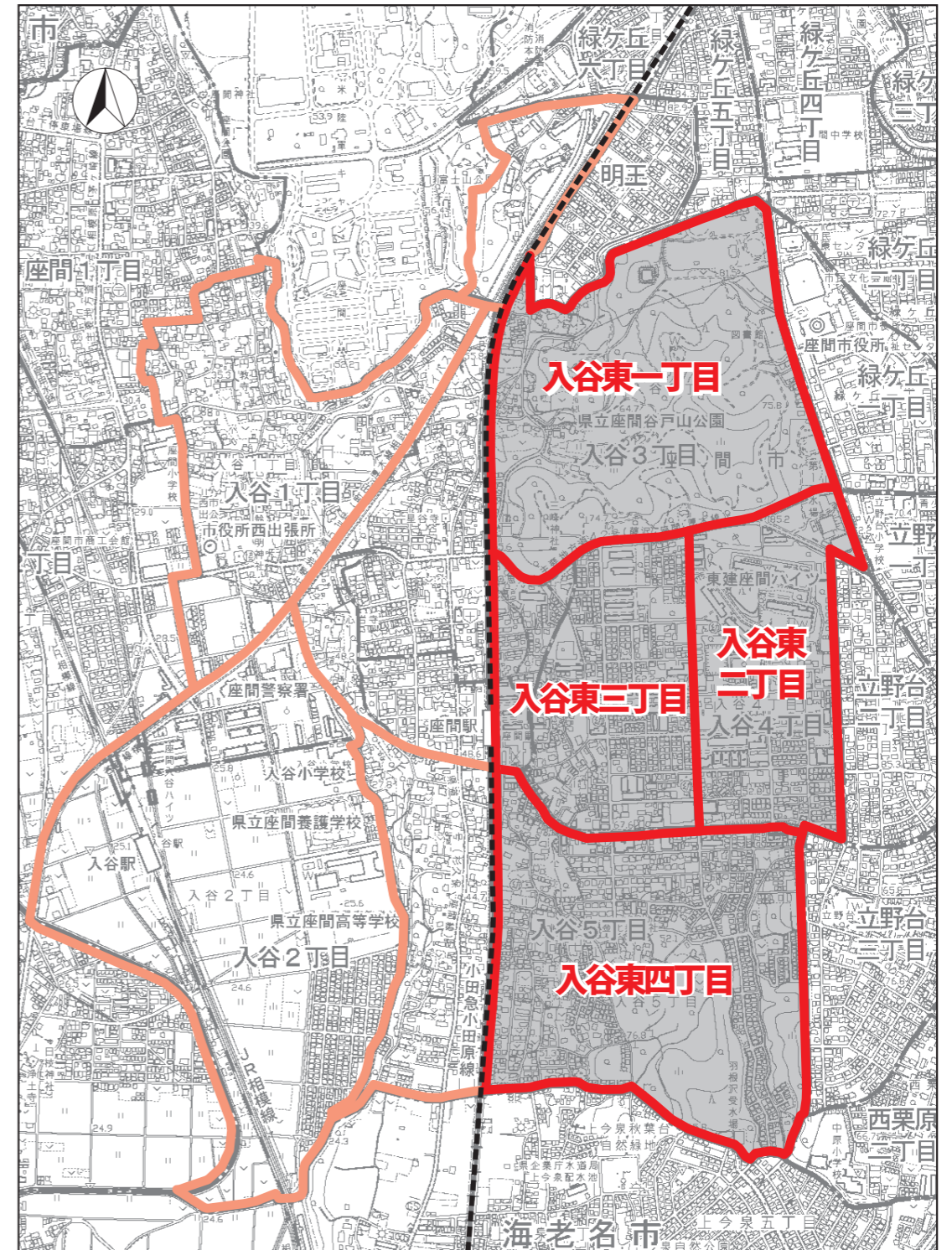
他の地区に比べると町丁目が大きく、また、丁目の中を鉄道や幹線道路が通っています。



## 新しい町割

入谷地区住居表示検討会での議論を踏まえて下記のとおり町割を決定しました。

- ※ 町の境界・・・公道、河川、水路または鉄道、その他恒久的な施設をもってこれに当てることとし、できる限り明確を期する。
- 町の規模・・・おおむね165,000㎡(50,000坪)から297,000㎡(90,000坪)の範囲とする。



平成32年2月実施予定



平成31年2月12日実施